

経鼻内視鏡検査(胃カメラ)を受けられる患者さんへ

アンケート調査ご協力をお願い

経鼻内視鏡検査は経口での挿入と比較して嘔吐反射などの苦痛が少なく患者の負担軽減が期待できることから、全国的に件数が増加しています。しかし経鼻内視鏡は鼻痛や不快感、鼻出血のリスクを伴うことがあります。そのため今回、経鼻内視鏡検査の前処置を見直す事といたしました。

そこで経鼻内視鏡検査での前処置、検査開始から検査中、検査終了時の苦痛度を評価するためアンケート調査を実施したいと思います。

なお本研究は、練馬総合病院研究倫理審査委員会において、研究の実施の適否について、倫理的、科学的及び医学的妥当性の観点から審査を受け、承認を得ております。

調査への協力は回答者の自由意志であり、同意が得られなくても、何ら不利益を受ける事はありません。また調査にご協力頂いた患者さんのカルテ等の診療情報を使用させて頂く場合があります。患者さんの情報は、個人を特定できる情報とは切り離れた上で使用します。

この研究は「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究者等は、患者さんからインフォームド・コンセント（説明と同意）を受けることを必ずしも要しません。そのため同意を取得する代わりに対象となる患者さんへ向けホームページで情報を公開しております。

調査は研究者が作成したアンケート用紙にお答えいただく形式で、所要時間は 5 分程度です。また研究成果を院内研究や学会で発表しますが、患者さん個人を特定できる個人情報を含みません。回収したアンケートは厳重に保管し、研究終了後にシュレッダーにて裁断、破棄します。

研究実施期間：研究実施許可日～西暦 2027 年 12 月 31 日

本研究に関してわからない点や不安な点がある場合、さらに詳しい説明が必要な場合は遠慮なく下記までお尋ねください。

研究の主旨をご理解いただき、ご協力下さいますようよろしくお願いいたします。

この臨床研究の研究連絡窓口は以下の通りです。

練馬総合病院 内視鏡センター 堀川 由佳
〒176-8530 東京都練馬区旭丘 1-24-1
電話：03-5988-2200（代表）